

令和5年7月27日  
国土交通省関東地方整備局  
鬼怒川ダム統合管理事務所

## 工事発注手続きについて

～「R5 鬼怒ダム堤体観測設備改修工事」の発注手続きを行います～

鬼怒川ダム統合管理事務所が発注する「R5 鬼怒ダム堤体観測設備改修工事」において、不調・不落対策等を試行、採用します。

工事発注において予定価格超過や入札参加者がいないことなどを理由として、入札のとりやめや不調が予想される工事について、不調・不落対策等を試行、採用しています。

今回発注する「R5 鬼怒ダム堤体観測設備改修工事」については、以下のとおり不調・不落対策等を試行、採用します。

### 【不調・不落対策等】

1. 公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）企業実績評価型
2. 競争参加資格の緩和
3. 余裕期間制度（フレックス方式）
4. 世界的な半導体不足による工期延期等
5. 機器単体費の提示
6. 配置予定技術者の専任を要しない期間

※詳細は次項をご覧ください。

### <発表記者クラブ>

竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 栃木県政記者クラブ 宇都宮市役所記者クラブ  
日光記者クラブ

### <問い合わせ先>

関東地方整備局 鬼怒川ダム統合管理事務所

電話：028-661-1341（代表） F A X：028-660-2344

副所長（技） 舘野 悟（たての さとる） （内線：204）

防災情報課長 渡邊 章生（わたなべ あきお） （内線：281）

## 《工事概要》

- (1) 工 事 名：R 5 鬼怒ダム堤体観測設備改修工事
- (2) 工事場所：栃木県日光市川治温泉川治 3 1 9 - 6 川治ダム管理支所 外
- (3) 工 期：全体工期 契約締結の翌日から令和 6 年 3 月 2 5 日まで  
余裕期間制度（フレックス方式）
- (4) 入札方式：公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）企業実績評価型
- (5) 工事種別：通信設備工事
- (6) 工事内容（概要）：

堤体観測及び地震観測設備更新（川治）	1 式
堤体観測・地震観測WE B サーバ新設（川治）	1 式
地震観測WE B サーバ新設（川俣）	1 式
漏水量計更新	4 台
I P 伝送装置（L 3 - S W）更新	2 台
I P 伝送装置（L 2 - S W）更新	3 台
I P 伝送装置（L 2 - S W）新設	1 台

## ■工事概要図



川治ダム堤体観測設備（演算処理装置）  
地震観測設備（制御装置）



漏水量計

## 《不調・不落対策等》

### 1. 公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）企業実績評価型

競争参加者が少数と見込まれ、技術難易度が比較的低い工事について、試行するものです。

特徴は次のとおりです。なお、公共工事の実績のない企業でも参加しやすい方式となっています。

- 1) 競争参加時に配置予定技術者の申請は不要です。  
(参加要件として配置予定技術者の工事経験の設定はありません。)
- 2) 総合評価における加算点の評価対象は、企業における防災に係る取組姿勢、同種工事の施工実績、本発注工事に対応する工事種別の手持ち工事量及び賃上げの実施を加算点としています。
- 3) 過去の工事成績や表彰実績、配置予定技術者の技術力は評価対象としません。

## 2. 競争参加資格の緩和

### 1) 地域要件の拡大

工事場所等の地理的条件を勘案し、地域要件を「栃木県内」に建設業法に基づく本店、支店又は営業所を有する企業から拡大し、「関東地方整備局管内」に建設業法に基づく本店、支店又は営業所を有する企業を対象とします。

## 3. 余裕期間制度（フレックス方式）

本工事は、受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建設資材、労働者確保等の準備を行うことができる余裕期間を設定した工事であり、契約時に令和6年3月25日までの間で、受注者は工事の始期及び終期を任意に設定することができます。

なお、工事の始期までの余裕期間内は、監理技術者等の配置が不要となります。

## 4. 世界的な半導体不足による工期延期等

本工事は、半導体不足の影響で機器等の納期遅延により、工期内に工事が完成出来ない等、工期の延長が必要な場合には、工事の一時中止等の適切な措置を行い工期の延長を実施します。

## 5. 機器単体費の提示

本工事は、堤体観測及び地震観測設備、WEBサーバ、漏水量計、IP伝送装置に係る機器単体費を歩掛見積参考資料に提示することを試行します。

## 6. 配置予定技術者の専任を要しない期間

本工事は、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間）については、主任（監理）技術者の専任を要しないものです。

専任を要しない期間は、令和6年2月5日（月）までを予定しています。

## 《スケジュール》

○入札公告、入札説明書交付	：令和 5年 7月27日（木）
○技術資料等の提出期限	：令和 5年 8月 7日（月）
○入札書・工事費内訳書の提出期限	：令和 5年 9月 8日（金）
○開札日	：令和 5年 9月13日（水）

# 公募型指名競争入札方式(総合評価落札方式・企業実績評価型)の試行について

## 【メリット】

- ✓ 施工体制確保→発注工事の公募
- ✓ 資料は参加希望の意思確認時のみの提出  
→資料の簡素化、合理化(個別発注時では不要)
- ✓ 手続期間の短縮  
→指名通知から決定まで2週間程度
- ✓ **総合評価落札方式・企業実績評価型**  
→企業における防災に係る取組姿勢と施工実績等を評価

公示

(工事内容・入札時期・落札方式等)



工事参加希望の意思確認・技術資料の提出

(参加意思表明申請書+必要資料の提出)



参加要件は企業とし、  
技術者要件は求めない

指名基準による選定



発注(指名通知)

以降は指名競争・総合評価  
落札方式の手続き



指名競争・総合評価落札方式により落札決定

(標準点100点+加算点(11点)+施工体制  
評価点(30点))÷入札価格=評価値  
※加算点は企業における防災に係る取組  
姿勢と施工実績等+買上げの実施  
に関する評価

公募による企業の参加

公募結果に基づく指名

防災に係る取組姿勢と  
施工実績等を評価